

2014年度

# 線型代数学演習 A

## No. 9 問題

2014年6月23日実施

- 1] 以下の複素行列について, (有限回の) 基本変形を施すことにより,  $\begin{pmatrix} E_r & O \\ O & O \end{pmatrix}$  の形に変形せよ. その際, 基本変形の具体的な操作も記述せよ. なお, 最終形において, 下の2つの  $O$ , あるいは右の2つの  $O$  は現れないことがある.

$$(1) \begin{pmatrix} 3 & 2 & 2 \\ -2 & 1 & -1 \\ -1 & 4 & 0 \\ 0 & 7 & 1 \\ 4 & 3 & 1 \end{pmatrix}, \quad (2) \begin{pmatrix} 2 & 1 & 3 & 4 & -1 \\ 1 & 3 & -1 & -3 & 7 \\ -1 & 2 & -4 & -5 & 6 \\ 0 & -1 & 1 & 2 & -3 \end{pmatrix}.$$

- 2]  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4, \mathbf{a}_5 \in \mathbb{C}^4$  を以下のものとする.

$$\mathbf{a}_1 = \begin{pmatrix} 2 \\ 1 \\ 3 \\ -1 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{a}_2 = \begin{pmatrix} 1 \\ 2 \\ -1 \\ 2 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{a}_3 = \begin{pmatrix} -1 \\ -5 \\ 6 \\ -7 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{a}_4 = \begin{pmatrix} -3 \\ 0 \\ -7 \\ 4 \end{pmatrix}, \quad \mathbf{a}_5 = \begin{pmatrix} 4 \\ -1 \\ 8 \\ -7 \end{pmatrix}.$$

- (1)  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4, \mathbf{a}_5$  を並べて得られる行列を  $A = (\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4, \mathbf{a}_5)$  とする. このとき,  $A$  に 行基本変形のみ を施して, 階段行列  $B$  に変形せよ. その際, 行基本変形の具体的な操作も記述せよ.
- (2)  $V = \langle \mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4, \mathbf{a}_5 \rangle \subset \mathbb{C}^4$  で,  $\mathbf{a}_1, \mathbf{a}_2, \mathbf{a}_3, \mathbf{a}_4, \mathbf{a}_5$  で生成される  $\mathbb{C}^4$  の部分ベクトル空間を表すとする. このとき, 以下の性質をみたすベクトルの組  $\{\mathbf{a}_{j_1}, \mathbf{a}_{j_2}, \dots, \mathbf{a}_{j_r}\}$  ( $r = \dim V, 1 \leq j_1 < j_2 < \dots < j_r \leq 5$ ) を, 性質がみたさされていることも示して選べ.
- (i)  $1 \leq k \leq r$  のとき,  $\mathbf{a}_{j_1}, \dots, \mathbf{a}_{j_k}$  は  $\mathbb{C}$  上一次独立である.
- (ii)  $1 \leq k \leq r$ , かつ  $j_{k-1} < l < j_k$  (ただし,  $j_0 = 0$ ) なるとき,  $\mathbf{a}_{j_1}, \dots, \mathbf{a}_{j_{k-1}}, \mathbf{a}_l$  は  $\mathbb{C}$  上一次従属である.
- 3]  $l, m, n$  を正整数,  $A$  を  $l$  次複素正方行列,  $B, C$  をそれぞれ  $(l, n)$  複素行列,  $(m, l)$  複素行列とし,  $X = \begin{pmatrix} A & B \\ C & O \end{pmatrix}$  とする. また,  $B, C, X$  の階数をそれぞれ  $r_B, r_C, r_X$  とする.
- (1)  $r_X \geq r_B + r_C$  が成り立つことを示せ.
- (2)  $l = \max\{r_B, r_C\}$  のとき,  $r_X = r_B + r_C$  であることを示せ.